

リスクアセスメント報告書 (事例1-1)

対象作業名 : 間伐作業

実施者氏名 : ○○さん、△△さん、□□さん、◎◎さん

報告書作成日 : 平成○○年○○月○○日

No.	危険要因の洗い出し					リスク見積り (現状)		リスク評価 (現状)	リスク低減対策	対策後のリスク見積り (予測)		改善に当たり考慮すべき事項	優先順位	
	作業名	危険要因の内容	災害に至るプロセス			可能性	重大性			リスクレベル	可能性			重大性
			～するとき	～したので	～(事故の型)になる									
1	伐倒作業	落枝	退避の途中、倒れる方向を確認するため樹冠を見上げたとき	折れた枝が落下し	顔に当たる	△	△	3	①伐倒で古枝が落ちる可能性を見極め退避方向を決める	△	○	2	①②をあわせて行う	1
									②伐倒木が倒れ始めたらずきに退避する	△	○	2	退避の途中で立ち止まって樹冠を見上げない	
2	伐倒作業	枯れ木	伐倒木が隣の枯れ木に倒れかかり	枯れ木の幹が折れ	落下した枯れ木の下敷きになる	△	×	4	①周辺の木の状態を見極め、枯れ木があれば前もって伐倒する	○	○	1	①②③をあわせて行う	1
									②安全な退避場所を確保する	○	○	1		
									③伐倒木が倒れ始めたらずきに退避する	△	○	2		
3	伐倒作業	伐倒木	伐倒木が隣の木に弓なりにかかり	反発してつるがちぎれ	元口が跳ねて激突される	△	×	4	①ねらった方向に確実に倒れるよう、けん引具を使う	○	△	2	①②をあわせて行う	1
									②つるの幅が適切に残るよう受け口、追い口を作る	○	△	2	つるの幅を広めに残す	
4	伐倒作業	伐倒木	急斜地でくさびを打ち退避するとき	退避が遅れて伐倒木に巻き込まれ	伐倒木と共に斜面を落下する	△	×	4	①安全な退避場所を確保する	○	△	2	①②③をあわせて行う	1
									②あらかじめ退避方向を定め、障害物を取り除いておく	○	△	2		
									③つるの幅を広めに残し、けん引具を用いて倒す	○	△	2	引倒しに当たっては、ガイドブロックを使い安全な方向にロープを引く	
5	伐倒作業	伐倒木	追い口を切り込みすぎ	伐倒方向が変わり	下敷きになる	△	×	4	①重心方向をよく見極め、受け口、追い口を適切に作りくさびを打って倒す	○	△	2	伐倒作業の基本を再教育する	1
									②追い口は切り込みすぎないよう細心の注意を払う	○	△	2	切込み予定位置に印を付けておく	
6	伐倒作業	ソーチェーン	急斜地の伐倒で受け口を切るとき	チェーンソーの位置が高くなり	バーが顔に当たりそうになる	△	×	4	①足場を組み、その上で作業する	○	○	1	伐倒作業の基本を再教育する	1
									②肩より上の高さでチェーンソーを操作しない	○	○	1	切込み予定位置に印を付けておく	
7	伐倒作業	ソーチェーン	追い口にくさびを打ち、さらに切り進んだとき	くさびが抜けそうになり手で押さえたので	ソーチェーンが指に触れ切創を負う	○	△	2	①チェーンソーの操作は必ず両手でを行い、途中で片方の手を放さない	○	○	1	チェーンソーの基本操作を再教育する	1
									②くさびは途中で抜けないようしっかり打ち込む	○	○	1		

対策後のリスクレベルを確保する方法を具体的に示す
 ①対策後に発生する別の新しいリスクに対応する事項
 ②残留リスクが増大しないように考慮すべき事項

リスク低減対策は、検討の順序に従って考える
 ①危険作業を廃止。作業のやり方、機械、道具等を変更
 ②安全装置、保護具等の使用
 ③教育訓練、作業管理等の実施

リスクの評価基準

災害の可能性

可能性ランク	記号
かなり起こる	×
たまに起こる	△
ほとんど起こらない	○

災害の重大性

重大性ランク	記号
極めて重大	×
重大	△
軽微	○

リスクレベル

リスクの見積り	リスクレベル
××	5
×△、△×	4
○×、×○、△△	3
○△、△○	2
○○	1

リスクへの対応

リスクレベル	リスクへの対応
5	受け入れ不可能なリスクであり、即座に他の方法へ回避する必要がある
4	受け入れ不可能なリスクであり、抜本的な対策を実施する必要がある
3	受け入れ不可能なリスクであり、何らかの対策を実施する必要がある
2	受け入れ可能なリスクであり、現時点では特に対策の必要がない(残留リスクあり)
1	受け入れ可能なリスクであり、対策の必要がない(残留リスクあり)